

## 海外安全対策情報（平成26年7月～9月）

### 1 社会情勢及び一般犯罪の傾向

（1）停止命令や警告発砲に従わず逃走した不審車両に対し、当局がやむを得ず発砲する事案が発生しています。8月23日には、カスリン県において、停止命令等に従わず逃走した不審車両に対し、治安当局が発砲した結果、乗車していた女性2名が銃弾で死亡（運転手は無免許）、9月11日には、アリアナ県において同様に停止命令に従わず、高速運転で逃走した不審者に対し、当局が発砲、乗員2名のうち1名が負傷しました（車は盗難車両）。

（2）9月1日、カスリン県で武装集団が、制憲国民議会のモハメド・アリ・ナスリ議員の自宅を襲撃し、同氏を殺害しようとしたましたが、失敗し逃走しました。同氏は、屋上から飛び降りて隣家に隠れ、その際足を負傷しましたが銃創は負わなかった模様です。

（3）9月10日、ケビリ県において外国人観光客を乗せた四輪駆動車が事故を起こし、スイス人とフランス人の女性が死亡、他の外国人が負傷する事故が発生しました。

### 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

9月の日曜日午後1時頃、観光中の邦人がチュニス市メディナ内を歩行していたところ、チュニジア人と見られる若い男性1名から、突如物ナイフ様の刃物を突きつけられ、所持品を奪われるという強盗事件が発生しました。付近では、特に週末に、同様の事件が複数発生している模様です。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

（1）7月16日、カスリン県シャアンビ山において、軍の部隊がテロリスト集団に襲撃され、兵士15名が死亡、数十名が負傷する事件が発生しました。襲撃は、イフタール（ラマダン期間中の夕食）の時間に合わせ、ニカ所の軍駐屯地に対し同時に行われ、テロリスト集団はRPGロケットや機関銃を使って軍部隊を攻撃しました。

（2）8月7日、内務省は、5つのテロリスト集団をチュニス近郊（スークラ、ダール・ファダール、ラウエド、クラム）及びケロアン県南部で摘発し、政治家や治安関係者、重要施設等に対する大規模なテロ計画を阻止したと発表しました。この摘発により、テロ組織アンサール・シャリーアに属する21名が逮捕され、爆弾が仕掛けられた車両や武器、バイク等も押収されています。

（3）9月23日の記者会見によると、スースとモナスティール、シディ・ブジッドにおいて武装テロ組織が摘発されました。スースでは10名、モナスティールでは5名が逮捕され、けん銃10丁や銃弾約300個が押収されました。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していません。

#### 5 対日感情

基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

#### 6 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業を標的とした事例はありませんが、昨年1月に隣国アルジェリアで日本人が犠牲になったイナメナス事件が発生したこともあり、当国においても日本人・日本企業を標的とするテロ・誘拐事件が発生する可能性を完全に否定することはできませんので、常に警戒を怠ることなく、自らの安全確保に十分注意することが必要となります。

また、外務省ホームページ等で「スポット情報」、「危険情報」等を掲載しておりますので、渡航前にはこれらの情報を参照されるとともに、テロ事件等の不測の事態に遭遇した際には、大使館に速やかに連絡されるようお願いします。